

八戸支部から各自治体へ海運・船員の政策諸課題に関する申し入れ
八戸市・階上町

八戸支部は2月18日に八戸市、2月25日に階上町を訪問、海運・船員の政策諸課題に関する申し入れを実施し、船員税制をはじめ、喫緊の課題である船員の後継者の確保・育成など、船員職業の重要性について説明し、理解を求めた。

申し入れは甲斐忠行八戸支部長に全国海友婦人会の高谷綾子八戸支部長と濱浦ミサさんが同行した。

八戸市への申し入れ

熊谷雄一八戸市長にご対応いただき、熊谷市長からは▽船員における住民税減免については、市としては外航海運や遠洋漁業の重要性を理解しており、公平性を担保しながら市として何ができるのか検討を続け、他地区の状況を参考に判断したい▽海に親しむ活動の推進については、八戸市には八戸海洋少年団があり、海に親しみ、海に学ぶ活動をしている。また、昨年7月には一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターが主催する「漁師の仕事!船と漁業を知る授業」にも参画した。今後も海に親しむ活動は継続していきたいとの考え方が示された。

階上町への申し入れ

階上町の荒谷憲輝町長にご対応いただき、荒谷町長から▽船員における住民税減免については、階上町は人口減少の影響を受け、税収も減少し厳しい状況が続いている。現状では公平性の観点から難しい問題であるが、遠洋漁業や沿岸漁業の重要性は理解しており、引き続き、近隣市町村や実施している自治体の状況を見ながら検討したい▽海に親しむ活動の推進については、階上町水産振興委員会主催の海の学校を開催しており、夏休みを利用して海岸で貝の採取やアブラメの釣り体験などを実施している。また、同時に漁業の仕事や魅力を伝える説明会を開催しており、今後も継続した取り組みを進めたいとの見解が示された。

八戸市と階上町への申し入れでは、甲斐八戸支部長から、全国的に少子高齢化は進んでおり、特に地方の人手不足が顕著となっている。海上輸送や漁船漁業を担う船員不足は深刻で、今後も船員職業の後継者の確保・育成について特段の協力をお願いすると伝え、申し入れを終了した。

「海員だより」